

高島市上小川地区における人と水路の係わりに関する調査研究 —その2 世代および居住年数に応じた水路・水利施設の利用状況に着目して—

Research on the relationship between people and waterways in the Kamiogawa area of Takashima city -Part2 Actual usage of waterways and irrigation facilities according to generation and years of residence-

○片平こころ¹, 渡邊朝陽¹, 武田竜治², 菅原遼³, 畔柳昭雄³

*Kokoro Katahira¹, Asahi Watanabe¹, Ryuji Takeda², Ryo Sugahara³, Akio Kuroyanagi³

Abstract: In the previous paper, we focused on water usage facilities in the Kamiogawa area of Takashima City, Shiga Prefecture, and grasped the installation form and usage management form. Therefore, in this paper, in order to understand the difference in water usage patterns by age and years of residence of local residents and the difference in awareness of water usage by generation we conducted a survey of waterways and interviews with residents in the same area. As a result, we grasped the difference in water use depending on the water intake form and geographical characteristics, and then grasped the difference in awareness of water use among generations.

1. はじめに

本稿では、「前稿その1」に続き、滋賀県高島市安曇川町上小川地区(以下、上小川地区)を対象に、地域住民による水路および水利施設の利用管理の実態を把握した上で、地域の住民生活に見られる湧水との係わり方を捉えることを目的とする。

2. 調査概要

調査概要を Table 1 に示す。本調査は、上小川地区を対象に、現地踏査を実施し、地区内の水路分布を把握した。次いで、住民へのヒアリング調査^{注1)}を実施し、住民ごとの水路及び水利施設の利用管理、水利用方法や利用用途、居住年数や年齢との関係性を把握した。

3. 調査結果

3-1. 水路および自噴井の管理形態

ヒアリング対象者の住居と水利施設の位置図を Figure 1, ヒアリング対象者の水路および自噴井の利用管理状況を Table 2 に示す。上小川地区を流れる水路の管理は、年3回の頻度で住民総出により藻狩りが行われており、加えて、住民組織2団体により年2回の頻度で清掃活動が行われていた。藻狩りは、各世帯1名ずつ参加しており、参加者の男女比率に偏りはないが、近年では住民の高齢化に伴い参加率が低下してきている。また、敷地周辺を流れる水路や敷地内に設けられた自噴井については、住民個人による定期的な清掃活動が実施されており、地区全体に水が行き渡る水路や各種水利施設の日常的な維持管理を行う地域内の共通認識の存在が窺えた。

Table1. Survey overview

| 項目 | 概要 |
|-------|---------------------|
| 調査対象地 | 滋賀県高島市安曇川町上小川地区 |
| 調査方法 | 現地踏査、ヒアリング調査(14名) |
| 調査項目 | 水路および水利施設の利用管理、居住年数 |
| 調査期間 | 2020年9月1日～2020年9月5日 |

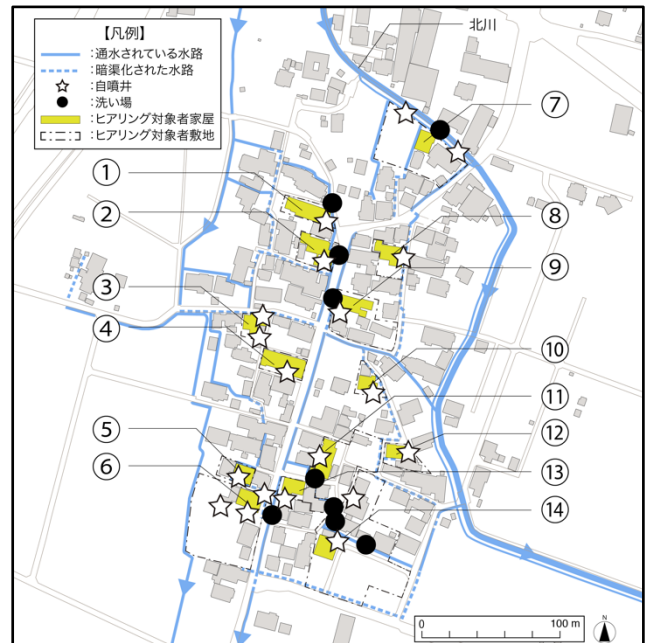


Figure1. Hearing survey point

3-2. 水路および自噴井の利用形態

ヒアリング対象者⑭の水利用管理の範囲を Figure 2 に示す。上小川地区では、日常的に飲料水等の生活用水としての湧水利用がなされているが、生活用水としての利用に適していない^{注2)}金属成分を含む湧水が噴出する地点も存在する。こうした金属成分を含む湧水が噴出する自噴井を有している住居では、湧水利用を

1 : 日大理工・学部・海建 2 : 日大理工・院(前)・海建 3 : 日大理工・教員・海建

